

Q2-1(1). 自分や家族に対して危険を感じる問題(結核)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	321	604	369	48
(%)	1382	23.2	43.7	26.7	3.5
					2.9

Q2-1(2). 自分や家族に対して危険を感じる問題(受動喫煙)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	158	393	599	210
(%)	1382	11.4	28.4	43.3	15.2
					1.6

Q2-1(3). 自分や家族に対して危険を感じる問題(エイズ)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	398	492	289	158
(%)	1382	28.8	35.6	20.9	11.4
					3.3

Q2- (4). 自分や家族に対して危険を感じる問題(SARS)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	305	486	349	156
(%)	1382	22.1	35.2	25.3	11.3
					86
					6.2

Q2- (5). 自分や家族に対して危険を感じる問題(C型肝炎)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	238	485	449	143
(%)	1382	17.2	35.1	32.5	10.3
					67
					4.8

Q2- (6). 自分や家族に対して危険を感じる問題(食物アレルギー)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	230	515	500	87
(%)	1382	16.6	37.3	36.2	6.3
					50
					3.6

Q2-(7). 自分や家族に対して危険を感じる問題(食品添加物)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	109	389	676	158
(%)	1382	7.9	28.1	48.9	11.4
					3.6

Q2-(8). 自分や家族に対して危険を感じる問題(遺伝子組み換え食品)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	125	424	571	156
(%)	1382	9	30.7	41.3	11.3
					7.7

Q2-(9). 自分や家族に対して危険を感じる問題(BSE)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	130	423	560	216
(%)	1382	9.4	30.6	40.5	15.6
					3.8

Q2-(10). 自分や家族に対して危険を感じる問題(鳥インフルエンザ)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	126	433	578	197
(%)		9.1	31.3	41.8	14.3
					3.5

Q2-(11). 自分や家族に対して危険を感じる問題(魚に含まれる水銀)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	107	383	577	227
(%)		7.7	27.7	41.8	16.4
					6.4

Q2-(12). 自分や家族に対して危険を感じる問題(環境ホルモン)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	87	330	632	223
(%)		6.3	23.9	45.7	16.1
					8

Q2-(13). 自分や家族に対して危険を感じる問題(ダイオキシン)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	91	293	603	325
(%)	1382	6.6	21.2	43.6	23.5
					70
					5.1

Q3-(1). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(結核)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	66	451	681	101
(%)	1382	4.8	32.6	49.3	7.3
					6
					83

Q3-(2). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(受動喫煙)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	24	226	819	262
(%)	1382	1.7	16.4	59.3	19
					3.7
					51

Q3- (3). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(エイズ)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	21	127	704	471
(%)	1382	1.5	9.2	50.9	34.1
					59
					4.3

Q3- (4). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(SARS)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	22	197	752	335
(%)	1382	1.6	14.3	54.4	24.2
					76
					5.5

Q3- (5). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(C型肝炎)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	17	167	813	313
(%)	1382	1.2	12.1	58.8	22.6
					72
					5.2

Q3- (6). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(食物アレルギー)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	24	263	834	183
(%)	1382	1.7	19	60.3	13.2
					78
					5.6

Q3- (7). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(食品添加物)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
1382	19	203	808	295	57
(%)	1.4	14.7	58.5	21.3	4.1

Q3- (8). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(遺伝子組み換え食品)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
1382	17	238	749	289	89
(%)	1.2	17.2	54.2	20.9	6.4

Q3- (9). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(BSE)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
1382	22	189	745	366	60
(%)	1.6	13.7	53.9	26.5	4.3

Q3- (10). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(鳥インフルエンザ)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	15	194	753	365
(%)	1382	1.1	14	54.5	26.4
					4

Q3- (11). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(魚に含まれる水銀)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	17	179	757	355
(%)	1382	1.2	13	54.8	25.7
					74
					5.4

Q3- (12). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(環境ホルモン)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	17	126	713	437
(%)	1382	1.2	9.1	51.6	31.6
					89
					6.4

Q3- (13). 日本の社会全体に対して危険を感じる問題(ダイオキシン)

総数	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度危険がある	非常に危険がある	わからない
総数	1382	18	102	659	533
(%)	1382	1.3	7.4	47.7	38.6
					70
					5.1

Q4-(1). 健康問題に関する報道の見聞

総数	よく見聞き たり読んだり する	時々見聞き たり読んだり する	あまり見聞き したり読ん だりしない	まったく見聞 きませんでした りしない	まったく見聞 きませんでした りしない	わからない
総数	1382	462	739	158	19	4
(%)	1382	33.4	53.5	11.4	1.4	0.3

Q4-(2). 食の問題に関する報道の見聞

総数	よく見聞き たり読んだり する	時々見聞き たり読んだり する	あまり見聞き したり読ん だりしない	まったく見聞 きませんでした りしない	まったく見聞 きませんでした りしない	わからない
総数	1382	415	766	176	21	4
(%)	1382	30	55.4	12.7	1.5	0.3

Q4-(3). 環境問題に関する報道の見聞

総数	よく見聞き たり読んだり する	時々見聞き たり読んだり する	あまり見聞き したり読ん だりしない	まったく見聞 きませんでした りしない	まったく見聞 きませんでした りしない	わからない
総数	1382	381	773	191	31	6
(%)	1382	27.6	55.9	13.8	2.2	0.4

Q5-(1). 有効な対策をとることができる問題(結核)

総数	できない	あまりできな い	ある程度でき る	できる	わからない
総数	1382	233	318	567	180
(%)	1382	16.9	23	41	13
					84
					6.1

Q5-(2). 有効な対策をとることができる問題(受動喫煙)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	149	234	708	240
(%)	1382	10.8	16.9	51.2	17.4
			3.7		

Q5-(3). 有効な対策をとることができる問題(エイズ)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	103	131	504	563
(%)	1382	7.5	9.5	36.5	40.7
					5.9

Q5-(4). 有効な対策をとることができる問題(SARS)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	180	315	516	244
(%)	1382	13	22.8	37.3	17.7
					9.2

Q5-(5). 有効な対策をとることができる問題(C型肝炎)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	180	394	505	177	126
(%)	13	28.5	36.5	12.8	9.1

Q5-(6). 有効な対策をとることができる問題(食物アレルギー)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	111	249	701	218	103
(%)	8	18	50.7	15.8	7.5

Q5-(7). 有効な対策をとることができる問題(食品添加物)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	172	323	624	175	88
(%)	12.4	23.4	45.2	12.7	6.4

Q5-(8). 有効な対策をとることができる問題(遺伝子組み換え食品)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	189	358	574	159	102
(%)	13.7	25.9	41.5	11.5	7.4

Q5-(9). 有効な対策をとることができる問題(BSE)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	215	345	573	143
(%)	1382	15.6	25	41.5	10.3
			7.7		

Q5-(10). 有効な対策をとることができる問題(鳥インフルエンザ)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	243	382	530	118
(%)	1382	17.6	27.6	38.4	8.5
			7.9		

Q5-(11). 有効な対策をとることができる問題(魚に含まれる水銀)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	298	478	392	84
(%)	1382	21.6	34.6	28.4	6.1
			9.4		

Q5-(12). 有効な対策をとることができる問題(環境ホルモン)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	347	493	335	62
(%)	1382	25.1	35.7	24.2	4.5
			10.5		

Q5－(13)．有効な対策をとることができる問題(ダイオキシン)

総数	できない	あまりできない	ある程度できる	できる	わからない
総数	1382	376	479	334	63
(%)	1382	27.2	34.7	24.2	4.6
					9.4

Q6－(1)．政府は有害なものについての情報を隠している

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	162	199	594	292
(%)	1382	11.7	14.4	43	21.1
					9.8

Q6－(2)．食の輸入規制は国民との話し合いが必要

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	26	160	828	194
(%)	1382	1.9	11.6	59.9	14
					12.6

Q6－(3)．危険性があるものを使用する気にならない

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	20	144	798	320
(%)	1382	1.4	10.4	57.7	23.2
					7.2

Q6-(4). 社会福祉向上のためには社会の高度技術化が必要

	総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	26	245	723	176	212
(%)	1382	1.9	17.7	52.3	12.7	15.3

Q6-(5). 技術の進歩は自然を破壊する

	総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	32	393	643	109	205
(%)	1382	2.3	28.4	46.5	7.9	14.8

Q6-(6). 生活の質向上のためには絶えざる経済成長が必要

	総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	34	396	670	96	186
(%)	1382	2.5	28.7	48.5	6.9	13.5

Q6-(7). 健康への害の有無は専門家に任せるべき

	総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	47	506	592	91	146
(%)	1382	3.4	36.6	42.8	6.6	10.6

Q6-(8). 食品による健康被害の責任は政府にある

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	25	328	696	139
(%)	1382	1.8	23.7	50.4	10.1
					14

Q6-(9). 自己責任のもと食品を選択するべき

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	39	316	790	121
(%)	1382	2.8	22.9	57.2	8.8
					8.4

Q6-(10). 快適生活の維持には危険が伴う

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	125	661	419	40
(%)	1382	9	47.8	30.3	2.9
					9.9

Q6-(11). 政府や企業は技術がもたらす危険性を管理できる

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	114	533	450	66
(%)	1382	8.2	38.6	32.6	4.8
					15.8

Q6-(12). 経済を強くするには健康が多少損なわれる覚悟がいる

総数	強く反対	反対	賛成	強く賛成	わからない
総数	1382	382	712	157	23
(%)	1382	27.6	51.5	11.4	1.7
					7.8

Q7-(1). 健康問題に関して信頼できる情報源

総数	大学・研究所等の専門家の発表	国際機関の発表	NGOなど民間のボランティア機関の発表	政府や省庁の発表	テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報	地方自治体の発表	わからない
総数	562	209	69	94	162	42	167
(%)	40.7	15.1	5	6.8	11.7	3	12.1

Q7-(2). 食の問題に関して信頼できる情報源

総数	大学・研究所等の専門家の発表	国際機関の発表	NGOなど民間のボランティア機関の発表	政府や省庁の発表	テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報	地方自治体の発表	わからない
総数	534	168	86	127	171	36	182
(%)	38.6	12.2	6.2	9.2	12.4	2.6	13.2

Q7-(3). 健康問題に関して信頼できる情報源

総数	大学・研究所等の専門家の発表	国際機関の発表	NGOなど民間のボランティア機関の発表	政府や省庁の発表	テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報	地方自治体の発表	わからない
総数	420	268	94	142	140	47	183
(%)	30.4	19.4	6.8	10.3	10.1	3.4	13.2

－動物由来感染症に関するリスクコミュニケーション研究－

研究協力者 柄本三代子（東京国際大学人間社会学部）

研究要旨

動物由来の新型感染症に関しては、感染経路やウイルスの特定、防疫対策がいかになされていたのか、動物からヒトへの感染の可能性、ヒトからヒトへの感染の可能性など、人々にとっても未知であるだけに、何らかの事態が生じた時にそのような関心が高まるのは必至である。また、その動物が日常的に食用とされていた場合、さらに関心は高まるであろう。そこで、本報告ではいまだ記憶に新しい鳥インフルエンザ報道がいかになされていたかの実態を探ることを目的とした。とくにテレビ報道を分析した結果分かったのは、同じ映像が繰り返し使用され、細かい説明がないままに例えば「ヒトからヒトへの感染の可能性はない」と断定的に報じられていることである。このような報道で人々の様々な疑念を払拭できたのかについては大いに疑問が残った。

A. 目的

2005年6月7日付産経新聞によると、家電メーカーシャープが、同社が開発した「除菌イオン」で鳥インフルエンザを死滅させる効果があると発表した。鳥インフルエンザに対する「恐れ」は、このように企業の広告にも利用されるほど浸透している。

このような「恐れ」の日常的理解に果たすマスメディアの役割は大きい¹⁾。それが一般に広く食用される動物であった場合、パンデミック²⁾ そのものに対する恐れだけでなく、食への不安にもつながる。そこで本報告では先ず、新聞とテレビにおいてどのように報道されたのかという実態を探ることを目的とし、動物由来の感染症の中でも記憶に新しいと思われる鳥インフルエンザに関する報道量について調べた。

さらに、感染の原因についてどのように報道されているのか、また動物からヒトへの感染だけでなく、視聴者の関心は「ヒトからヒトへの感染」について特にあると思われるので、この点についてどのように報道されているのかについて探ることを目的とした。

B. 対象と方法

調査対象メディアは新聞とテレビである。しかし、データ収集の時期が異なる。

新聞は、地方版も含む「読売新聞」と「朝日新聞」を調査対象とした。山口県の養鶏場で鳥インフルエンザの発生が確認された2004年1月12日から事態の一応の收拾がついたとみられた同年3月20日までの期間、「鳥インフルエンザ」で検索し記事を集めた。

テレビについては、日本国内における鳥インフルエンザのヒトへの感染の疑いに関する第一報が2004年12月17日にテレビニュースで放送された。また翌年1月8日にはベトナムのケースとして、鳥インフルエンザに感染して死亡した子供について報道された。したがって本報告では2004年12月17日から翌年1月8日までのテレビ番組のモニターをモニター会社に「鳥インフルエンザ」で検索を依頼した。その結果、内容分析対象となったのテレビ番組は32番組、総報道量2588秒であった（別表参照）。

C. 結果

検索の結果、抽出された新聞記事は2992件であった。「朝日新聞」と「読売新聞」という媒体別の傾向については明確な差異を確認できていない。

テレビの内容分析で重要視すべき点は、ナレーションそのものだけでなく、そのナレーションにどのような映像が使用されているのかということだ。使用されていた映像を大別すると以下になる。①浅田農産船井農場内外の遠景・近景、②防護服着用で作業する人、③厚生労働省職員の記者会見、④その他。①～③の映像がほとんどで、④にはアナウンサーや新聞記事の映像が含まれる。

またそれぞれの番組でどのような言説が使用されていたかを調査した結果については別表にまとめた。

鳥インフルエンザのヒトへの感染理由に関しては、「浅田農産の怠慢」という厚生労働省側の理由のみが提示されていた。また、ヒトからヒトへの感染の可能性はないと説明されていた。

D. 考察

鳥インフルエンザの、ヒトに対する感染も含めて、その感染理由や、ヒトからヒトへの感染可能性の示唆については、ほとんどが厚生労働省からの情報として報道されていた。

他のリスク報道と比較してみても、テレビ報道に関しては、あらためて専門家にインタビューを取るなどの、他の情報源にあたるという事がなされていなかった。

「感染しても今後発症のおそれがない」、あるいは「今後他の人に新たに感染するおそれはない」となぜいえるのか、という説明は一切なされていなかった。つまり、そのように言い切る根拠は提示されない。

E. 結論

アナウンサー以外の、感染症に関する専門家でないゲストが登場してくる番組では、ゲストの発言には情報に対するリテラシーを喚起するものも含まれていた。例えば「なぜ今このような報道がなされるのか」という疑問が提示された。出所がひとつで、しかも断定的に報道される情報に接することで、動物由来の新型インフルエンザに関しどのような印象を持ったのか、ということについて受け手調査が今後必要である。

F. 健康危険情報

この研究において健康危険情報に該当するものはなかった。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権

この研究において知的財産権に該当するものはなかった。

文献

- 1) Beardworth, A. & Keil, T., 1997, *Sociology on the Menu*, Routledge.
Allan, S., 2002, *Media, Risk and Science*, Open University Press.
Friedman, S.M., Dunwoody, S. and Rogers, C.L., (ed), 1999, *Communicating Uncertainty: Media Coverage of New and Controversial Science*, LEA.
- 2) 西藤岳彦・田代真人, 2004, 「鳥インフルエンザの流行とヒトインフルエンザパンデミック」『公衆衛生』vol.68, no.1

表1

2004年TV内容分析表

月/日	局	放送時間(秒)	番組名	感染理由	使用映像	ヒトからヒトへの感染可能性の示唆
12/17	NHK	72	ニュース(24:00)	厚生労働省"元従業員4人 早く通報しなかったため大量のウイルスにさらされた"と分析	浅田農産船井農場/防護服着用の人が消毒作業	N
	TBS	28	筑紫哲也ニュース23	N	アナウンサーのみ	N
	CX	45	ニュースJAPAN	5人はインフルエンザの予防薬を飲んだ上で防護服を着けていましたがそれでも感染を防げなかったおそれがあります。	浅田農産船井農場/防護服着用の人が消毒作業/死んだニワトリ/ニワトリの死体を詰める作業	N
12/18	NHK	94	ニュース(5:00)	厚生労働省"元従業員4人 早く通報しなかったため大量のウイルスにさらされた"と分析/厚生労働省"京都府の職員 感染対策徹底できていなかった可能性"	浅田農産船井農場/防護服着用の人が消毒作業	N
	NHK	238	NHK ニュースおはよう日本	厚生労働省"元従業員4人 早く通報しなかったため大量のウイルスにさらされた"と分析/厚生労働省"京都府の職員 感染対策徹底できていなかった可能性"	浅田農産船井農場/防護服着用の人が消毒作業/袋詰めにされたニワトリの死体を運び出す防護服姿の人	N
	NHK	27	NHK ニュース7	N	厚生労働省結核感染症課牛尾光宏課長の記者会見	厚生労働省結核感染症課牛尾光宏課長「5名は発症のおそれはないし今後(他の人に)新たに感染の可能性もない」
	NHK	68	ニュース(20:45)	N	浅田農産船井農場/防護服着用の人が消毒作業/厚生労働省結核感染症課牛尾光宏課長の記者会見	5人が今後発症するおそれはなく、他の人に感染するおそれもないとして冷静な対応をよびかけました/「今後も発症のおそれはなく新たな感染の可能性もないということで公衆衛生上の問題はないという風に考えておるところでございます」
	NTV	59	あさ天サタデー	N	産経新聞朝刊紙面	N
	NTV	166	ズームイン!サタデー	N	鳥インフルエンザが発生した養鶏場/生きたニワトリ/防護服着用の人が消毒作業/ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人	N
	NTV	63	ウェークアップ!	N	鳥インフルエンザが発生した養鶏場/生きたニワトリ/防護服着用の人が消毒作業/ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人	N
	NTV	52	ニュースプラス1・サタデー	N	防護服着用の人が消毒作業/ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人/厚労省などの会見会場	N
	NTV	52	NNNきょうの出来事	N	防護服着用の人が消毒作業/ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人/厚労省などの会見会場	N
	TBS	55	みのもんたのサタデーずばっと	N	厚生労働省建物を下から見上げる/厚生労働省看板/浅田農産船井農場の空撮/防護服着用の人/消毒作業/ニワトリの死体の入ったカゴ	N
	TBS	60	王様のブランチ	N	浅田農産船井農場の空撮/防護服着用の人/消毒作業/ニワトリの死体/ニワトリの死体を袋詰めにし廃棄する防護服着用の人	これ以上他の人に感染する可能性はないという事です
	CX	79	めざましどようび	5人はインフルエンザの予防薬を飲んだ上で防護服を着けていましたがそれでも感染を防げなかったおそれがあります。	浅田農産船井農場の消毒作業/ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人	京都府は、今後、新たに人から人へ感染する可能性はないとして冷静な対応をよびかけています。
CX	25	FNNスーパーニュース	N	浅田農産船井農場の消毒作業/ニワトリの死体を袋詰めにし廃棄する防護服着用の人/厚生労働省会見会場/厚生労働省結核感染症課牛尾光宏課長のバスタアップ	厚生労働省は人から人への感染のおそれはないとしています。	

	EX	171	やじうまプラス	N	東京新聞紙面／日本経済新聞紙面	鳥インフルエンザ 抗体のみで拡大の恐れなし／専門家の話によりますと抗体が出来たという事は体の免疫力がウイルスに勝ったという事でニワトリには抗病原性でも人に対しては抗病原性ではないことが分かったという事でもあるわけだからかえってよかったかもという専門の話もあるという事なんです
	EX	69	ANNニュース	N	浅田農産船井農場の空撮／防護服着用の人／ニワトリの死体を袋詰めにし廃棄する防護服着用の人／きょうの丹波町／発掘禁止の立て看板	鳥取大学 大槻公一教授「当時のウイルスが残っている可能性はなく新たな人への感染はないだろう。ただし現在も鳥インフルエンザは東南アジアで猛威を振るっており養鶏業者は野鳥が侵入しないようにするなどの対策を講じる必要がある」とコメントしています
	TX	30	TXNニュース	N	厚生労働省会見会場／防護服着用の人々／浅田農産船井農場の遠景	新たな二次感染の可能性は無いという事です
12/19	NTV	53	NNNニュースサンデー	N	防護服着用の人が消毒作業／ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人／厚労省などの会見会場	N
12/20	NHK	239	NHKニュースおはよう日本	※鳥インフルエンザウイルス台湾で検出／農林水産省”年末で人や物の動き激しくなるので感染防止を業者らに呼びかけたい”	台湾の町並み(資料映像)／浅井農産船井農場／防護服着用の人が消毒作業／厚生労働省会見	厚生労働省の担当者「今後発症のおそれもなく新たな感染の可能性もない。公衆衛生上の問題はない」
	CX	47	めざにゆ〜	この元従業員は死んだニワトリの処分などを担当していましたが、十分な防護をせずに作業をしていたとみられるということです。	毎日新聞紙面	N
12/22	NHK	36	NHKニュース9	N	浅田農産船井農場／防護服着用の人が消毒作業／厚生労働省結核感染症課牛尾光宏課長の記者会見	厚生労働省の会見 “5人は発症のおそれなし ほかに人への感染の可能性なし”
	NTV	29	ニュースプラス1	N	防護服着用の人が消毒作業／ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人／厚労省などの会見会場	5人は発症していない 感染が広がる心配もない
	CX	58	ニュースJAPAN	※韓国でウイルス 鶏肉など輸入禁止	防護服着用の人が消毒作業／ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人／厚労省などの会見会場／韓国の鶏舎	厚生労働省は5人とも発症はしておらず今後も発症のおそれや他に感染させるおそれはないと説明しています。
	EX	46	スーパーJチャンネル	浅田農産の情報隠しが感染につながった可能性もあるという事です／厚生労働省によりますと浅田農産では今年2月20日にニワトリが大量に死に始めましたが、この情報が隠蔽されていたため従業員4人はおよそ一週間にわたりマスクなどの着用無しに作業を続けていたということです	防護服着用の人が消毒作業／ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人／厚労省などの会見会場	N
	EX	60	ANNニュース	厚生労働省は浅田農産の情報隠しが感染につながった可能性もあると指摘しています／厚生労働省によりますと浅田農産では今年2月20日からニワトリが大量に死に始めましたが京都府への通報を怠っていました。そして従業員はおおよそ一週間にわたりマスクなどを着用しないまま作業を続けていたという事です	防護服着用の人が消毒作業／ニワトリを袋詰めにする防護服着用の人／厚労省などの会見会場	5人はいずれも発症せず現在は健康で今後も発症したり他人に感染したりする恐れはないということです。
	TBS	49	JNNニュースバード	※韓国で鳥インフルの疑い／農林水産省では国内の感染を防ぐために当面韓国産の鶏肉類の輸入を停止すると発表しました。また韓国で養鶏施設に立ち寄った人にも入国時に靴の消毒に協力するよう呼びかけることにしています。	防護服着用隊列／袋詰めにしたニワトリの廃棄／廃棄場所の空撮	新たに他の人に感染させる恐れはまったくくないということです。